

# 台東育英

VOL. 19 台東区立台東育英小学校

No. 6 校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taidoukuei-s/>

## 運動の秋、読書の秋 ～心に栄養を～

副校長 原 之雄

「運動の秋」です。体育発表会がいよいよ今週の土曜日に迫りました。

今年は残暑厳しく、感染症予防対策に加え熱中症予防にも配慮しながらの練習でしたが、子供たちは台東育英スタイルをしっかりと守り、一所懸命練習に取り組んできました。裏面に各学年の見どころを載せましたので、お読みいただいて、子供たちの活躍をぜひご覧ください。

### ノーテレビデー

台東区では、毎月23日を「ノーテレビデー」としています。これは、4月23日が「子ども読書の日」であることにちなんで、平成17年に設定されたものです。近年、テレビやパソコン、携帯端末の普及により、子供たちの読書離れが進んでいるので、テレビ（DVDやビデオ、テレビゲームなども含む）を見ずに家族で読書をし、家族団らんの時間をもちましようと呼びかけています。

携帯端末やテレビの画面を長く見ている子供は、黒板や本の内容に集中できる時間が短いというデータがあります。集中に欠かせない脳内物質は、スマホやテレビ画面等、強い刺激によって分泌が過多になり、弱い刺激に対する脳の反応が鈍くなるそうです。この観点からもノーテレビ、読書、家族の団らんとを試みしてみる価値がありそうです。

### 親子読書

本年度は実施できておりませんが、本校では、図書ボランティアの方々に月1回読み聞かせをお願いしております。「子供たちは、真剣に聞いてくれる。」という感想をよくいただきます。子供を読書好きにするには、家庭での働きかけが大切です。そこで、親子読書の方法をいくつか紹介いたします。

- ①親が子供に本を読んで聞かせてあげる。（いわゆる読み聞かせです。）
- ②子供が親に本を読んで聞かせる。（子供は、聞いてもらうのも大好きです。）
- ③親子で同じ本を一緒に読む。（1ページずつ読み合うのもおもしろいです。）
- ④親子で別々の本を読む。（違う本を同じ部屋で読み、それぞれ読んだ本の感想を話したり、交換して読んだりすると、いつもと違った親子のふれあいが生まれます。高学年におすすめです。）
- ⑤親が小学生の頃に読んでいた本を紹介して読む。

「食物は体の栄養、読書は心の栄養」という言葉があります。ノーテレビデーだけでなく時間をつくって親子読書を楽しみ、心の栄養をとっていただければと思います。